

【児童への話】

今週水曜日から、2月が始まります。2月3日金曜日には、みなさんが豆まきをする「節分」の集会在予定されています。自分が退治したい、悪い「鬼」を追い出せるといいですね。

さて今日は、その「節分」にまつわることについて、ひとつだけお話しします。

皆さんは、節分に「豆まきをする必要がない」と言われている苗字の人がいるのを知っていますか？皆さんの中にもいますよ。クラスの中で知っている人は、担任の先生に伝えてみてください。… 答えは、「わたなべさん」です。

平安時代、今から900年ほど前の話ですが、渡辺綱（わたなべのつな）というとても強いお侍さんが、酒吞童子という鬼のボスを倒したと言われています。この人が、今のわたなべさんのご先祖さまです。渡辺綱には鬼も恐れて近付かない、ということで、今でもわたなべさんは、節分で豆まきをしないでいい、する必要がないと言われているんです。もちろん豆まきはわたなべさんもしていいことですので、節分の行事を皆さんで楽しんでください。

今日は2月の「節分」にまつわることについて、ひとつだけお話ししました。また3日の集会で話しますね。では、この後の集会も楽しみましょう。

【本講話について】

大寒らしい寒さが続いています。通用門での毎朝のあいさつでは、耳とつま先がジンジンするような昔ながらの厳しい寒さを感じますが、代表委員の子ども達はその寒さに負けず、一緒にあいさつをしてくれています。自分の役割や責任を果たす姿が素晴らしいです。

いよいよ2月に入り、暦の上では今週土曜日から春となります。今年度残り40日弱の登校日を大切に、教育活動を進めていきます。